

世界水資源関連株式ファンド

<2800>

追加型投信／内外／株式
日経新聞掲載名：水資源株式

第6期 2026年4月2日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の水に関連する事業を行なう企業の株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第6期末	基準価額	12,630円
	純資産総額	2,790百万円
第6期	騰落率	7.7%
	分配金	100円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を含めて計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0280020260402◇

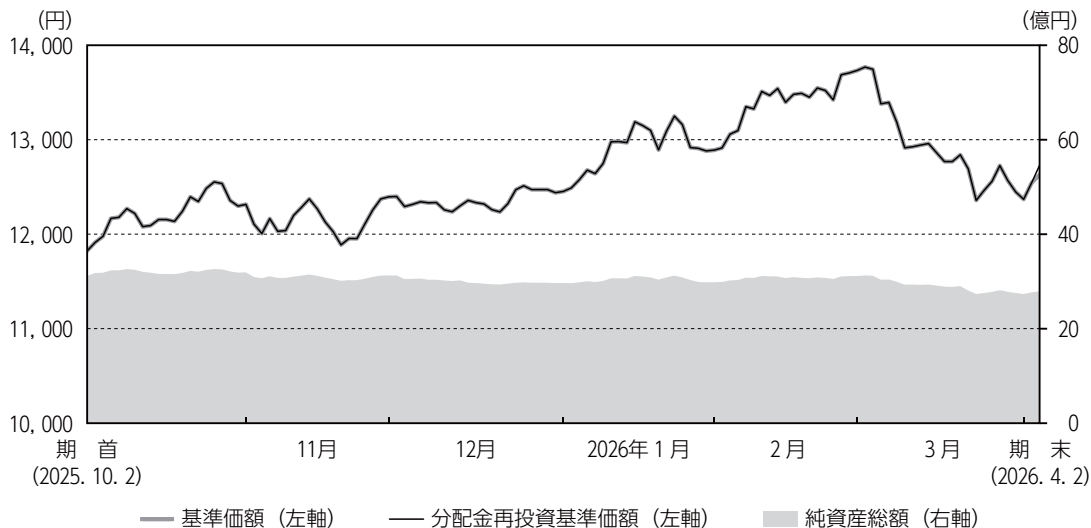
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：11,824円

期末：12,630円（分配金100円）

騰落率：7.7%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

日本を含む世界の水に関連する事業を行う企業の株式に投資を行った結果、保有株式が上昇したことや対円で米ドルが上昇（円安）したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 10. 3~2026. 4. 2)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	74円	0.587%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,653円です。
(投 信 会 社)	(24)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(49)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	75	0.591	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

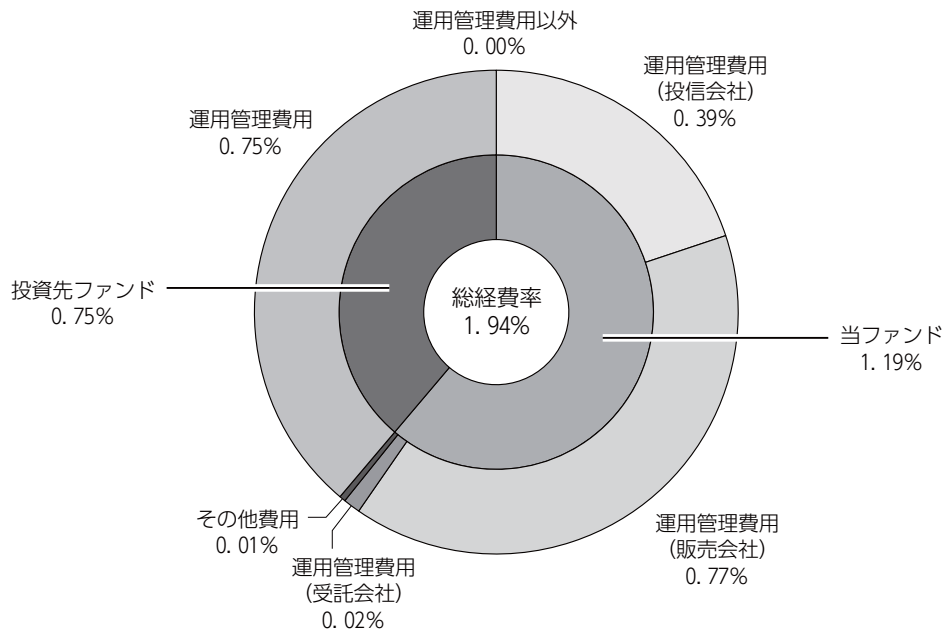
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.94%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

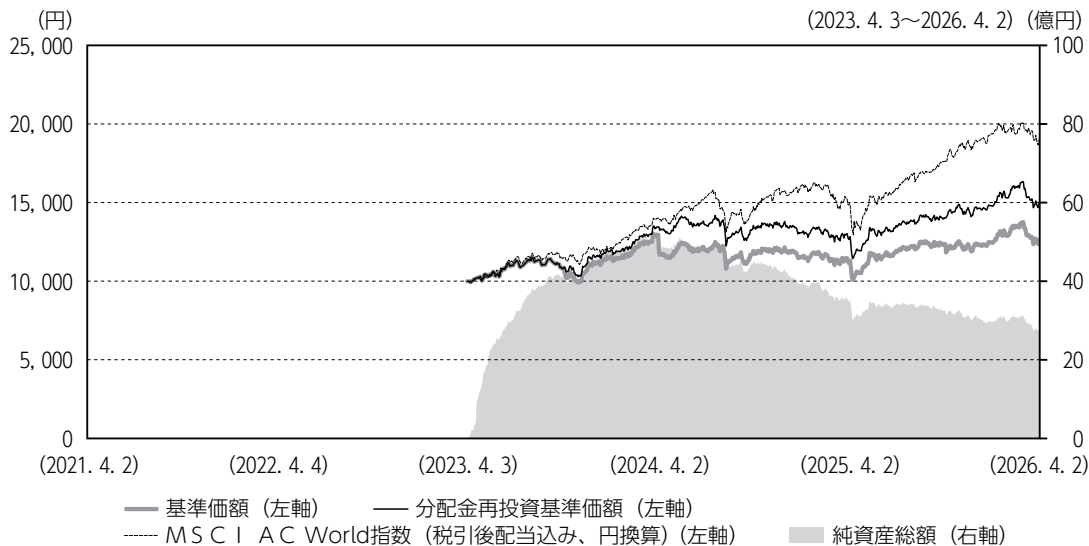
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2023年4月3日を10,000として指数化したものです。

*参考指数はMSCI AC World指数 (税引後配当込み、円換算) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2023年4月3日 設定	2024年4月2日 決算日	2025年4月2日 決算日	2026年4月2日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,850	11,217	12,630
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,500	0	650
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	34.4	△5.3	18.8
MSCI AC World指数 (税引後配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	39.9	6.8	28.7
純資産総額 (百万円)	1	4,773	3,499	2,790

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) MSCI AC World指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。MSCI AC World指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCIが開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2025. 10. 3 ~ 2026. 4. 2)

■ グローバル株式市況

グローバル株式市況はおおむね横ばいでした。

グローバル株式市況は、当作成期首より、米中首脳会談を通じて貿易摩擦への懸念が後退したことなどから、上昇して始まりました。その後、AI（人工知能）関連銘柄を中心に高値警戒感が広がったことなどから下落しましたが、米国政府機関の閉鎖解除、ウクライナをめぐる和平協議進展への観測が広がったことから上昇に転じ、FRB（米連邦準備制度理事会）が利下げを決定したことなどから、2025年末に向けて上げ幅を拡大しました。2026年に入って、グリーンランドをめぐる米欧の対立から一時リスク回避の動きが広がったものの、底堅い米国景気などを背景に再び上昇に転じました。しかしながら、AIの進歩により既存業務が代替される「AI脅威論」が意識されたことや、米国・イスラエルのイラン攻撃による地政学リスクの高まりを受けてリスク回避の動きが鮮明となり、グローバル株式市況は当作成期末にかけて不安定な動きとなりました。

■ 為替相場

主要投資対象通貨は対円でおおむね上昇（円安）しました。

米ドル為替相場は、当作成期前半のFRB（米連邦準備制度理事会）の利下げ観測の後退や政府機関の閉鎖解除、当作成期後半の製造業PMI（購買担当者景気指数）などの経済指標が好調だったことに加え、高市政権の拡張的な財政政策に対する警戒感の高まりや追加利上げに対する日銀の慎重姿勢などが要因となり、対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「BNPパリバ・ファンズ アクア」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※BNPパリバ・ファンズ アクア：BNPパリバ・ファンズ アクア（UI15 JPY CAP クラス）

■ BNPパリバ・ファンズ アクア

当ファンドは3つの水資源関連テーマである「水インフラ」、「水処理・効率化」、「水道事業」をもとに、水不足をめぐる世界的課題にソリューションを提供する優良企業に投資を行います。

当ファンドの運用にあたっては引き続き、3つのテーマのバランスを重視し、回復力のある事業

特性を持ち、市場を上回る利益成長と強い価格決定力を有する優良企業に注目するとともに、水関連分野における成長機会を捉えることに注力する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025. 10. 3 ~ 2026. 4. 2)

■当ファンド

当ファンドは、「BNPパリバ・ファンズ アクア」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じて、「BNPパリバ・ファンズ アクア」を高位に組み入れました。

■BNPパリバ・ファンズ アクア

当ファンドは、3つの水資源関連テーマである「水インフラ」、「水処理・効率化」、「水道事業」をもとに、水不足をめぐる世界的課題にソリューションを提供する優良企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。

引き続き、3つの水資源関連テーマのバランス重視に努めました。当ファンドのパフォーマンスは、中東情勢を背景としたエネルギー価格の急騰を受けて軟調に展開する局面もあったものの、底堅い米国景気に加え、これまで過小評価されていた資本財銘柄が見直されたことなどから、全体としては堅調に推移しました。このような相場環境の下、一部銘柄の入れ替えを行いました。具体的には、中長期的な成長が見込まれる有力なコンサルタント事業をポートフォリオに加えることを目的にコンサルタント会社のテトラ・テック（米国）を新規に組み入れました。一方で、高い利益率の持続可能性に対する懸念の高まりに加え、株価が割高と判断する水準に達したコンサルタント会社のスタンテック（カナダ）と、継続的な株価上昇で株価に割高感が出てきており、より良い投資機会があるその他の銘柄に資金を再配分する目的で、農業機械、産業機械、水管製造のクボタ（日本）を全売却しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

当ファンドは、「ESGファンド*」です。

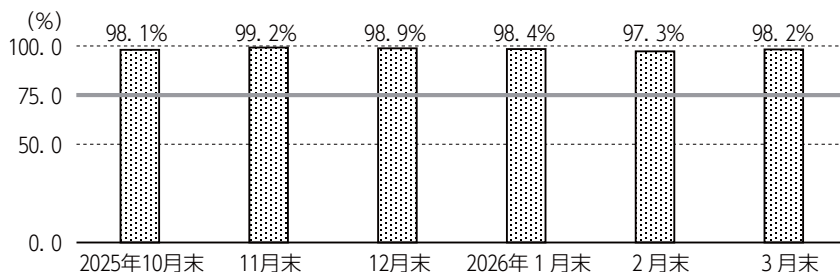
* ESGファンドとは、ESGを投資対象選定の主要な要素としており、その内容に関する開示が可能なファンドです。

* 当ファンドは、経済的リターンと並行して社会や環境にポジティブなインパクトをもたらす、いわゆる「社会的リターン」の獲得をめざすものではありません。

○ ESGの観点により選定した銘柄への投資比率について

当ファンドが投資対象とする「BNPパリバ・ファンズ アクア」では、水関連事業を行う企業の株式に、常に純資産総額の75%以上投資を行います。

◆ 「BNPパリバ・ファンズ アクア」における、水関連事業を行う企業への投資割合の推移



(注) BNPパリバ・アセットマネジメントが提供するデータ等をもとに大和アセットマネジメントが作成したものです。

*比率は「BNPパリバ・ファンズ アクア」の純資産総額に対する比率です。

○ 組入ファンドの運用会社であるインパックス・アセットマネジメントが同社のスチュワードシップ方針に沿って実施した行動の概要 (※)

議決権行使活動

- ・ 2024年、ファンド内で、合計637件の議決権行使を行いました。
内訳：賛成…91%、反対 / 棄権…9%
- ・ 2024年、ファンド内で、50件の年次株主総会における投票を行いました。
内訳：すべての議案に賛成…52%、少なくとも一つの議案に反対または棄権…48%

エンゲージメント活動

- ・ 2024年、ファンド内で、合計23件の企業に対するエンゲージメント活動を行いました。
内訳：環境…9%、社会…4%、ガバナンス…87%

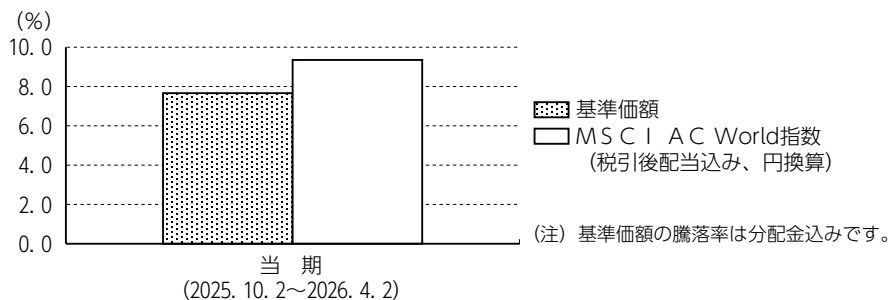
インパックス・アセットマネジメントの議決権行使方針およびエンゲージメント方針の詳細につきましては、同社のウェブサイトをご覧ください。

<https://impaxam.com/assets/pdfs/reports/stewardship-and-advocacy-report-2025.pdf>

(※) インパックス・アセットマネジメントの資料をもとに作成したものです。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2025年10月3日 ～2026年4月2日	
当期分配金（税込み）	(円)	100
対基準価額比率	(%)	0.79
当期の収益	(円)	100
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,629

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	0.59円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	✓	896.76
(c) 収益調整金		876.00
(d) 分配準備積立金		956.42
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		2,729.78
(f) 分配金		100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		2,629.78

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「BNPパリバ・ファンズ アクア」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■BNPパリバ・ファンズ アクア

当ファンドは3つの水資源関連テーマである「水インフラ」、「水処理・効率化」、「水道事業」をもとに、水不足をめぐる世界的課題にソリューションを提供する優良企業に投資を行います。

当ファンドの運用にあたっては、引き続き、3つのテーマのバランスを重視し、回復力のある事業特性を持ち、市場を上回る利益成長と強い価格決定力を有する優良企業に注目するとともに、水関連分野における成長機会を捉えることに注力する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。



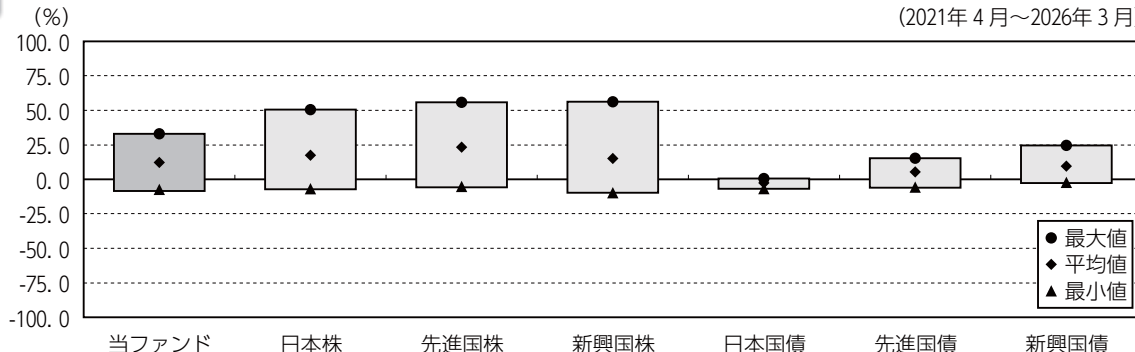
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2023年4月3日～2033年4月1日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主投資対象	当ファンド	イ．ルクセンブルク籍の外国投資法人「BNPパリバ・ファンズ」が発行する「BNPパリバ・ファンズ アクア (UI15 JPY CAP クラス)」(以下「BNPパリバ・ファンズ アクア」といいます。)の投資証券(円建) ロ．ダイワ・マネー・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、BNPパリバ・ファンズ アクアの投資証券への投資を通じて、日本を含む世界の水に関連する事業を行なう企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、BNPパリバ・ファンズ アクアとマザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、BNPパリバ・ファンズ アクアへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③BNPパリバ・ファンズ アクアでは、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位(A-2格相当)以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2021年4月～2026年3月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	33.0	50.5	55.7	56.3	0.6	15.3	24.5
平均値	12.2	17.4	23.3	15.1	△ 2.6	5.4	9.5
最小値	△ 8.4	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるのではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



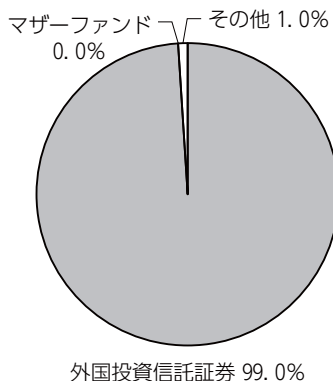
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

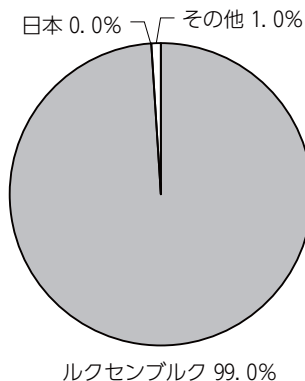
組入ファンド等

	比 率
BNPパリバ・ファンズ アクア	99.0%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	1.0

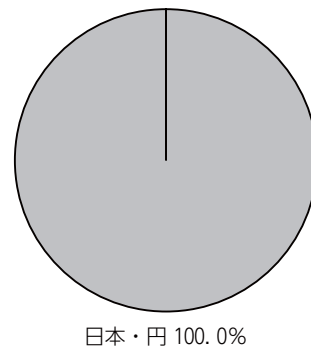
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2026年4月2日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

* 当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項 目	当期末
	2026年4月2日
純資産総額	2,790,884,881円
受益権総口数	2,209,764,462口
1万口当り基準価額	12,630円

* 当期中における追加設定元本額は64,342,824円、同解約元本額は489,034,806円です。

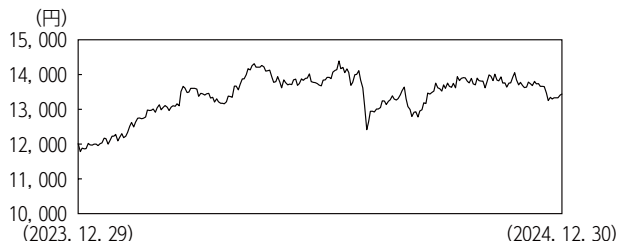
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ BNPパリバ・ファンズ アクア (作成対象期間 2024年1月1日～2024年12月31日)

※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

■ 1口当り評価額の推移



(注) 国内の営業日の評価額を記載しています。

■ 1口当りの費用の明細

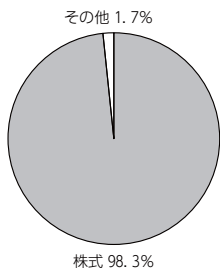
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

■ 組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
VEOLIA ENVIRONNEMENT	ユーロ	5.48%
AMERICAN WATER WORKS CO INC	米ドル	4.00
SEVERN TRENT PLC	英ポンド	3.89
LINDE PLC	米ドル	3.80
IDEX CORP	米ドル	3.13
NOVOZYMES A/S - B	デンマーク・クローネ	3.09
UNITED UTILITIES GROUP PLC	英ポンド	3.06
SMITH (A. O.) CORP	米ドル	2.99
PENTAIR PLC	米ドル	2.75
FISCHER (GEORG)-REG	スイス・フラン	2.62
組入銘柄数	44銘柄	

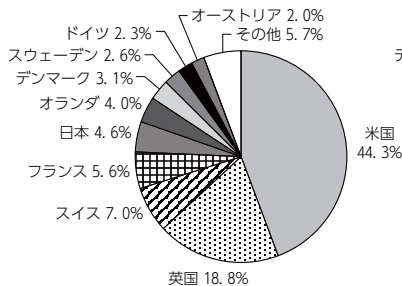
(注) 比率は純資産に対する比率です。

■ 資産別配分



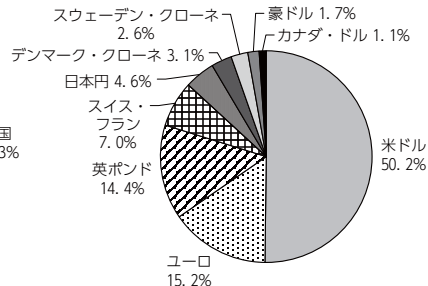
(注) 比率は純資産に対する比率です。

■ 国別配分



(注) 比率は株式ポートフォリオに対する比率です。

■ 通貨別配分



(注) 比率は株式ポートフォリオに対する比率です。

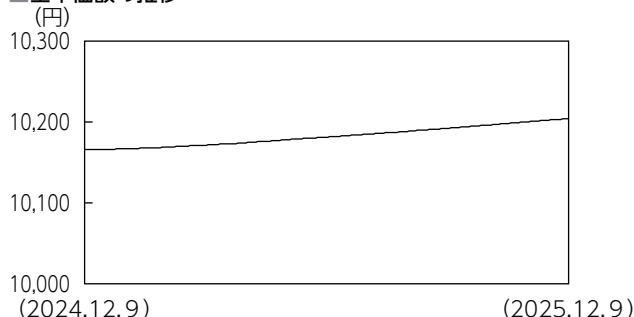
* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「BNPパリバ・ファンズ アクア」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書(全体版)の情報とは異なる場合があります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

◆ **ダイワ・マネー・マザーファンド**（作成対象期間 2024年12月10日～2025年12月9日）

■ **基準価額の推移**



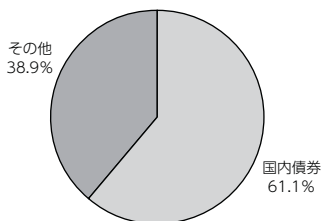
■ **1万口当りの費用の明細**

項目	金額
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	-

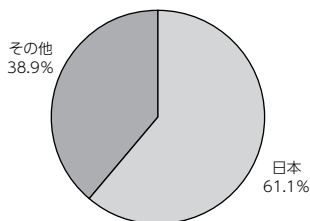
■ **組入上位銘柄**

銘柄名	比率
1344国庫短期証券 2026/2/24	47.0%
1343国庫短期証券 2026/2/16	14.1
組入銘柄数	2銘柄

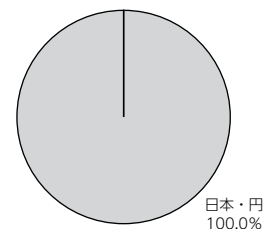
■ **資産別配分**



■ **国別配分**



■ **通貨別配分**



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。